

サービストラニング フィナル

この学期は本当に面白かったと思います。なぜならこれが私の最初のサービストラニングの授業だからです。だから、「サービス」という言葉について初めて考えました。私はたくさんボランティアしましたが、サービストラニングは本当に違うスタイルだと思います。たくさん新しい事を学びました。授業中だけじゃなく、子供からいろいろな事を学びました。

最初の週からいろいろな事をしました。いつも同様な事をしましたが、毎週、この事はいつもちょっとだけ変わりました。例えば、毎週運動をしました。最初の週、皆は外に集まって、日本のラジオ体操みたいな運動をしました。その後、みんなで自由に遊びました。しかし、他の週は違いました。例えば、そのラジオ体操みたいな運動の後、キックボールや、走るゲームをしました。自由じゃない日はいつも一番悪くて難しかった日だと思いました。なぜなら、子供達は自分のやりたい事をしたらもっといい気持ちになるからです。自由じゃない日はいつも日本語の授業中、子供達に問題がありました。その問題はいつも子供のテンションが高すぎるからだと思います。つまり、自分のやりたい事が出来なかったから、一所懸命運動をしませんでした。だから、テンションがあまりありませんでした。そして、いつも同じに運動をした後、日本語の授業のヘルパー達は三年生の宿題を手伝ってあげました。それは大体同じ事でした。問題があれば、日本語の授業を取らないと言った、問題がすぐに直しました。

毎週、いろいろな日本の文化と日本語を教えました。日本語の授業は一時間だけだから、ちょっとだめだと思いました。私達は四時間もいるから、なぜか分からないけ

どそんなに短い時間だけ授業をしました。グループBはいつもグループAの方が早く授業が始まりました。私のグループ（グループA）はたくさんの事を教えました。例えば、だるまの事とかジャンケンポンとか鬼の文化と日本の祭日とか日本のアニメなど教えました。そして、いろいろなゲームもしました。ゲームは「だるまさんが転んだ」と「鬼ごっこ」と「ジャンケン」と「お箸使いゲーム」をしました。生徒達は三年生だから、日本の文化を教えるゲームが一番楽しい方法だと思いました。そして、日常生活の言葉を教えるときチャレンジゲームをしました。チャレンジがあるから、生徒達はもっと早く言葉を覚えられました。最後の日にたくさんの生徒は「なぜ今日は最後の日ですか？もっと学びたいです。」と言いました。聞いた時、私はすごく嬉しくなったけど、ちょっと寂しくなりました。なぜなら、子供達は本当に難しかったけど、もっと学びたいモチベーションがあるからサービラニングに実りありました。

サービラニングの中でたくさん事を習いました。例えば、「サービスって何だろう」という質問についていつも新しい答えを考えました。レメンの記事が一番面白かったと思います。レメンは「サービス」ということは手伝ってあげるかくれる事じゃなくて、同じレベルと一緒に問題を直す事と書きました。それは私の初めて聞いた理由です。だから面白かったです。そして、サービスと手伝う事は違う事を読んだ時、私はちょっとビックリしました。なぜなら、「サービス」という事を考えて、いつも「手伝う」という言葉をすぐに考えているからです。しかし、レメンは「サービス」は同じレベルで見ますが、「手伝う」は目上と目下と見る事だからです。だから、その考え方を分かっていると面白かったです。記事の中で学んだ事だけじゃなくて、授業中のディス

カッションからもたくさんの事を学びました。記事を読む時、私と筆者の意見だけ読まれました。しかし、ディスカッションをする時クラスメートの意見も聞かれます。だから、皆の意見を聞くと自分の考えもふかくなれました。

まずは一番目のサービスアウトカムは「自分と社会意識」という理論です。この理論は生徒達が社会的や文化的や市民の責任ということを知って来ます。サービスラニングの中でこの理論を良く分かって来たと思います。例えば、私の生徒達はたいていヒスパニックだから、日本語の授業の前、生徒達はヒスパニックの文化だけを知っていました。そして、ヒスパニックの人はたいてい恵まれないと思います。ある週、子供は「日本人はアパートを住んでいますか？家に住んでいますか？私の家族は小さいなアパートを住んでいます。」を聞きました。この質問は面白かったと思いました。なぜなら、子供は他の人達の社会階級を知りたいからです。もし、日本だけの質問を聞くと面白くないとも思いました。しかし、子供の家も話したから子供はたぶん自分の生活状況は日本と違うと思います。そして、日本語の授業の中でいろいろな事を学んで、自分の考え方も広くなりました。例えば、その質問の答えを聞いた後、子供は自分と日本人はそんなに違いません。

私もサービスラニングの中で考え方を広くなったと思います。まずは、サービスラニングの前、私はヒスパニックの子供はいつもガキだなと思いました。この意見は本当に悪いけど、私の子供の頃から考えでした。なぜなら、私の継父は人種差別主義者だからです。だから、その意見をよく聞きました。でも、日本語と日本の文化を教えた後で私の意見が変わりました。今から人の民族性は気にしないと思います。そして、私

はハーフ日本人だから、いろいろな日本の文化を分かるので日本の文化は人気があるだ
と思いました。でも、教えた後で私の意見は変わりました。なぜなら、子供達はアジア
の事は知っているけど、大抵中国とか韓国のことだけです。日本の事は良く知りません
でした。私の文化はそんなに人気になつたから、本当にビックリしました。でも、私
はハーフだけだから、私も全部の日本の文化を知っていないと分かってきました。ユキ
さんと話した時とユキさんの教える時に私も新しい事を学びました。

二番目の理論は「サービスと社会的責任についてより深くわかるようになる」と
いうことです。私にとって、サービスラニングをするのは先生達にもっと尊敬しました。
なぜなら、教える事は先に思ったより難しいからです。先生達の全部教える物は私達の
将来のために教えると学びました。サービスサイトで、私のグループは教えるの理由は
生徒達に多文化主義をもっと分かっているからです。だから、私達も生徒達の書来のため
に教えました。だから、私達も先生のような人たちになったと思います。でも、自分
とグループとコミュニティと社会の福利は全部違うと思います。自分は「私は何を学ぶ
こと」だと思います。つまり、どうやって私はもっといい人になるだろうかということ
です。しかし、グループはどうやって他の人はもっといい人たちになるだろうかとい
うことです。コミュニティと社会の福利はどうやって皆はもっといいになるだろうかとい
うことです。

サービスラニングをするから、子供達はいろいろな新しいといいことを学んだと
思います。でも、全部の教えたことは短期と長期の利益（りえき）があるだと思
います。例えば、一番いいことは多分他の国から来た人を会えます。なぜなら、三年生のヒ

スパニックの子供はアメリカとメキシコの他の国から来た人をまだ会わなかったかも知れないからと思います。だから、会えたら子供達は若い時に多文化について考えています。それは長期な学んだことだと思います。もちろん長期な学んだことは一番いいですが、短期間もいいと思います。なぜなら、短期だけ教えました。例えば、子供達は多分「千と千尋の神隠し」の中尾にとか神様の特定ことを忘れるけど、ジブリの映画は日本から北の物をいつも覚えると思います。日本の特定ことは多分短気だけど、もし興味があれば長期に覚えられると思います。私達のせいから子供達は多文化をもっと分かった来たから、先生になればそのレッスンを良く覚えるといいと思います。

三番目の理論は「コミュニティと社会的正義」ということです。最初のアクティビティは小学校の周り場所で研究をしました。そのアクティビティはシサイドの人口動態や良く行くところや公園などを勉強をします。だから、その情報を分かっているのにシサイドの人のことをもっと分かりました。もし、場所の人口動態を分からない、場所の住む人もだいたい分からないと思います。シサイドはたいていヒスパニックのコミュニティだから、時々私達の生徒達はスペイン語を話しました。でも、一人に子供はスペイン語を話せないから、ちょっと寂しそうと思いました。私達のグループは毎週10人ぐらいのヒスパニックの子供を教えたけど、一人だけは白人でした。だから、一般的な人種差別じゃなくてスペイン語を話せないの白人に差別しました。モントレイにいれば反対にヒスパニックの人は人種差別をするかもしれません。

四番目は「多文化社会になる」ことです。私達はサービスラニングをしたから、もっといいコミュニティになれると思います。最初の聞くのはそんなことは本当に変だ

テイラーアン・ムーア

日本語 3 2 0 SL

サイト先生

と思ったけど、サービストラニングをした後私はそのことを信じていました。なぜなら、私にとってたくさんのことを学びました。一番大切なことは人種差別と固定観念は多部分間違えます。例えば、全員のヒスパニックの子供はガキという考え方が変わりました

日本語と日本の文化の授業をした後、MLK小学校の三年生はもっと多文化的な人々になりました。だから、もっと人を分かってきます。次に世界ももっといい場所になろう。